

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

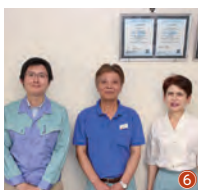
市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
ちから
 企業の

No28 The company in Shirakawa

(株)加藤螺子製作所 白河工場
 KATO SCREW CO., LTD

住所：白坂勝多石18
 事業内容：ボルトナット、精密ネジ部品の製造・販売

**先を見据えた部品作りを心掛け
 多様なニーズにこたえる**



- ① 自動車に使用される部品。利用箇所に合わせて様々な表面処理が行われています。
- ② 工場外観。自然豊かな環境の中にあります。
- ③ 従業員の皆さん。明るい雰囲気の職場です。
- ④ 日本に5台しかない加工機械。工場には大小様々な機械が約400台あります。
- ⑤ 品質確認をする様子。均一の部品を作るため試験設備も備えています。
- ⑥ 左から執行役員総務部長兼業務部担当の増田さん、執行役員開発部長兼GL担当部長の穂積利行さん、労務課主管の西牧敦子さん。

「私たちの会社は、自動車に使用する多種多様なボルト等の金属部品を、成形・加工・表面処理まで一貫工程で製造しています。自動車部品は、人の命にかかわるものなので、責任を持ち常に均一の品質で提供することを心掛けています」と話す執行役員総務部長兼業務部担当の増田翼さん。

加藤螺子製作所は、昭和14年に個人事業として東京都江東区で創業。昭和22年に法人化し、昭和44年に白河工場を建設しました。高強度・耐熱性・特殊形状の追求や品質管理の徹底、環境への配慮などを心掛けていて、平成11年にISO9001、平成17年にはISO14001を取得しています。

敷地面積は、35,000㎡。従業員は230人、その9割が地元の人で構成されているこの工場は、地域の雇用に大きく貢献しています。従業員の技術向上を図るため、スキル訓練表により技術を修得しているほか、外部で行われる検査・技能等の講習会に参加させるなど教育に力を注いでいます。また、定年を迎えた人を再雇用し、新卒者とペアを組むことで、熟練した技術とノウハウを若い世代に継承しています。

「創業から約70年が経ち、今では日本のすべての自動車メーカーに部品を提供できるようになりました。今後は、培った技術を土台に新しい分野に挑戦し、幅広い部品作りを目指します」と増田さんは力強く話してくれました。

冷房は28℃に設定しよう
 白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。
 チャレンジ25

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット③

しらかわの贈り物



解説
 丹羽長重公御廟に献灯されている石灯籠の大半は、柱と呼ばれる部位の中心部に「節」の模様があり、竹の節そのものに見えます。

御廟にある多数の「竹の節」の石灯籠

円明寺にある石灯籠は、代表的な種類の春日型と呼ばれるものです。「節」の模様によって時代が鑑別でき、一部が天保年間(1830年～1844年)のものに分かっています。当時の献灯者の依頼を受けた石工職人が、「節」として最もふさわしい竹の節の模様を刻んだものと考えられています。ほかに、「結城宗広公御廟」でも見ることはできますが、竹の節の石灯籠をたくさん見ることができるのはここだけです。



ツーリズムガイド白河副会長 川瀬 誠さん Kawase Makoto

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。 ☎ (公財) 白河観光物産協会 ☎ 1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、市役所本庁舎裏の谷津田川せせらぎ通りに咲き誇るあじさいの花です。この通りは、歴史と文化を感じる歩行道路として整備されていて、周辺には復元された水車小屋や丹羽長重公御廟、ハリストス正教会などの歴史的遺産が点在しています。また、春にははだれ桜やさつきが咲き、秋には美しい紅葉を見ることができると、四季折々の風景と河川との見事なコントラストが楽しめます。